

来年度エアコン設置を約束

12月8日(水) 一般質問
傍聴にお越しく下さい



- 特別支援学級卒業後の進路と特別支援学校について
- 地域センターの支所機能の拡充と使用料の引き下げを求めて
- 「受益者負担の適正化に関する基本方針」について

佐々木とも子 (7番目)

- 町田市の保育方針を問う
- すぐかけ台駅前のマンションの安全確認について
- 市のとりくみを問う

細野りゅん子 (6番目)

- 医療保険制度について
- 若者の就職支援を求め
- バス路線の拡充を求めて

池川友一 (3番目)

介護保険制度の改定の方が厚労省から示されています。給付削減の負担増の方針を2012年度から市は第5期介護保険事業計画のなかで具体化。地域包括支援センターを現在の15カ所から「12カ所にする」と述べました。

特養ホームの増設で 入所待ちをゼロに

「現在、導入に向けて検討中。850の教室に設置をすれば、総額は18億円。導入したときの運用基準(設定温度、学校の設置条件)を具体的に検討している」と述べ、新設の小山中学校には設置することを明らかにしました。学校のトイレについては、2014年までに内装も含めて洋式トイレに改修すると答えました。老朽化した学校修繕については「子どもたちの安全第一で考えていく」という答弁がありました。



佐藤洋子議員が、小中学校の普通教室にエアコン設置を求めた質問に対しては、教育長

6日から4日間の日程で、一般質問がおこなわれています。7日は佐藤洋子議員が質問をおこないました。その要旨を紹介します。

また、誰もが安心して入ることができると特養ホームを増設し、入所待ちをゼロにすることを求めました。また、ゴミ問題は、今後リサイクルセンターの改修も見据え、生ゴミ、プラスチックごみの減量と資源化のための施策をつくると答えました。

日本共産党市議団が 高齢者の医療費負担軽減条例を提出

日本共産党市議団は、今議会に「町田市高齢者の医療費助成に関する条例」を提出しました。市長・市議選で公約した75歳以上の医療費ゼロの第一歩として、75歳以上の低所得者に対して医療費の窓口負担を全額無料にするものです。この条例は、12月14日の健康福祉常任委員会で審議されます。